

りす俱樂部

2025年
7・8月合併号
第332号

ほおずき

夏が来ると、小学校の学級で一番の人気者になる可愛い女の子がいました。「ほおずき」の赤い実から種を取って笛を作り、童謡「シヤボン玉」を聴かせてくれました。いつも、いかめしい校長先生も、この時ばかりは、おかつば頭を撫ぜ、「夕焼け小焼け」を所望するのです。

弁護士 福井大海



ri Zuhri

私の戦後80年とユネスコ活動

りすシステム 創始者 松島如戒

この8月15日で80回目の敗戦の日を迎えました。8月15日を終戦の日と称する人々もいますが、私は無謀な戦争に敗れた日というのが正しいと考えています。9月2日のミズーリ艦上でのポツダム宣言受諾式典が敗れた日という向きもありますが、この日は形式的な儀礼の日で、実質的には、1945年8月10日に日本はポツダム宣言受諾を連合国に通告すること、侵略戦争に敗れたこと、つまり降参したのです。降参した日が8月10日なので、8月10日に第2次世界大戦が日本の降参によつて終わった、ということになります。いずれにしても、日本はこの戦争に敗けて、終結させた儀礼の日が8月15日だと思えます。

戦後というのは、日本の始めた侵略戦争が敗戦により終わった8月15日から数えて、今年で戦後80年になります。あの日、満8歳になったばかりの私が、今年の7月16日で88歳になりました。私の人生の大半は、いわゆる戦後を生きることになります。

ユネスコについて

ユネスコ(UNESCO)の正式名称は、「国際連合教育科学文化機関」です。日本の敗戦直後の1946年11月に設立された国際連合の専門機関の1つです。

設立の目的は、第2次世界大戦の反省から、教育、科学、文化を平和のために役立て、戦争や紛争を取り除くことを目指しています。加盟国は194か国(2024年7月現在)です。

お騒がせのトランプ米大統領により、米国は3回目のユネスコ脱退を表明しています。1回目

の脱退は1984年レーガン大統領によるもの。(2003年に復帰)、2回目の脱退は、トランプ大統領の1期目の2018年(2023年バイデン大統領により復帰)、3回目在今年2025年に脱退を表明しました。

アメリカという国は、かつて1994年クリントン大統領がイラク、イランなどの7か国をならず者国家などと言いましたが、ユネスコで3度も脱退するなど、アメリカは当たり前の常識を持つ国家とは言えないと私は思います。

広く知られているように、ユネスコは国連安保理の5大国拒否権制度とは異なり、194か国の総てに1票ずつの投票権を付与するという民主的な運営をしている機関です。

ユネスコの運営資金や事業資金は財政力などに応じた分担金制度により、アメリカは20%という高い負担をしています。アメリカが脱退している期間は、中国、日本、ドイツ、英国、フランスなどで年間7億238万ドルを負担していました。

私は思うのです。関税については勝手にお前の国は何パーセントだとか、俺の友人を刑事訴追したから50%だとかめっちゃくちゃではありませんか。日本だって、同盟国でありながら高い武器を売りつけ、さらに関税をふっかける。こんな人(国)との付き合い方を見直すべきではないでしょう

か。金輪際お付き合いしたくないと思いませんか。

話がぐどくなりましたが、日本が独立国となつたのはサンフランシスコ条約が発効した1952年4月ですから、独立前に日本はユネスコ加盟が認められたことになりません。敗戦により国際社会から孤立していた日本にとって、ユネスコ加盟により国際社会への参加が認められたという意味からも、ユネスコ加盟の意義は大きかったと思います。ちなみに国連への加盟は1956年12月。80番目の加盟国として正式に国際社会に復帰したのは、ユネスコ加盟から5年後のことです。

ユネスコと私の縁

69年前の春、5月、私は高校3年。ところは分県立三重高校の校長室でのこと。

校長の深田光先生が呼びだと用務員のおじさんから声をかけられました。生徒会長の私にとつて、校長室は珍しいところではありませんでした。その日の用向きは、大分県下初の高校ユネスコクラブを創らないか、というお話でした。

校長先生は「松島、昨日県下の校長会で、高校生にユネスコ活動をさせよう。そのために県下の高校で『高校ユネスコクラブ』を創らせようということが決まった。県下で第1号のユネスコクラブを創らないか」と言われました。皆さんはユネスコについて社会の授業で聞いたことがあるかも

しませんが、当時の私にとってユネスコが何であるかなどよく分からなかったのです。しかし「新しいクラブを創ることは、私の得意分野なので創りましょう。ところで何をどうすればよいのか」と校長先生にお尋ねすると「県の指導主事の先生を訪ねて指導を受け、あとは然るべく」ということでした。

昭和31年5月30日付の三重高校新聞によると、5月14日「県下初の高校ユネスコクラブの結成大会が開催され、会長松島剛、副会長寺田桂子(2年)・島尾繁美(1年)の役員を選出し、事業計画が決まった」とあります。ユネスコについての紹介に「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という憲章前文の紹介もありました。この1文が私の88年の人生の大半の生き方を方向づけたことになりました。

また、設立総会の事業計画として「自殺についての研究」があり、後にこの研究が「ユネスコ第4回藤山愛一郎賞」を受賞しました。この賞は、1955年当時の日本ユネスコ協会連盟会長藤山愛一郎さんが設けた高校ユネスコクラブ活動の振興を意図したもので、1981年まで続いていた。当時の高校生のユネスコ活動にとって、この賞の受賞は励みになったものです。その証左として、三重高校のユネスコクラブの結成時の事業

計画に「青少年の自殺についての意識調査」を掲げていたことから理解できます。

私の高校卒業から60年後のこと

コロナウイルス流行の前年、2019年の夏のことでした。大分ユネスコ協会連盟の丸尾直彦会長からご連絡をいただきました。電話口で先生は「松島剛さんですか？」とおっしゃられ「はい、現在は改名して松島如戒ですが……」とお応えしたら、電話の向こう側の丸尾先生からホッとされた気配を感じました。丸尾先生は「昭和31年に高校ユネスコクラブを作った三重高校の当時のメンバーを探していたら、病床に臥せっている方、亡くなった方がおられるなか、あなたのお元氣なご様子にホッとしています」というご挨拶でした。

続けて「ユネスコの九州地区の大会の当番が今年は大分なので、昭和30年代当時、高校生のユネスコ活動が盛んだったことが記録にあるので、昔を回想した話をしてほしい」という趣旨の講演の依頼でした。

コロナ禍で延期が続いた結果、2023年10月にユネスコ九州ブロック大会での講演が実現しました。話したい内容がてんこ盛りなので、資料をいっぱい作りまし。ゼロは悲しすぎますが、1人でも2人でも資料に目を通してくださる方がおられればよしとしました。

戦後80年大分ユネスコの高校生ための研修会で

ユネスコの夏期研修は、感慨無量です。昭和31年（1956年）の夏、当時海水浴場であった大分県大分郡坂ノ市海洋会館という会場で、学生ユネスコキャンプが7月下旬2泊3日で行われました。大学生のお兄さんお姉さんからユネスコ精神などについて学んだのであろうが、その記憶はどこにも残っていません。

感銘深かったのは、69年もの長きに亘り高校生の夏期研修が続いていること、さらにその席で講演することができることでした。

大分県ユネスコ協会連盟の顧問に推挙

大方の人は、80歳後半になればそれまでの役職を返上するのですが、私は88歳間近の今年の5月、ユネスコの顧問に推挙され、戸惑うことなくお受けしました。お引き受けしたからには、なにか仕事をしなければなりません。

先の大戦に敗れて80年、直接的な戦争体験者は年々歳歳少なくなり、あと10年もすればほとんどこの世に存在しない時代を迎えるでしょう。しかし、忌まわしい過去を忘れ去ってはならないと常々考えています。『戦後70年 私の遺言』という850ページに及ぶ書籍を編纂し、もやいの会、りすシステムなどの利用者、活動を長きに亘って

支持してくださった方々、そしてスタッフなど380名の老若男女の皆様からお寄せ下さった玉稿を一冊の書物に仕上げ、2016年に刊行しました。

実は、戦後50年の1995年には、もやいの会が中心になって『私にとつての戦争 そして戦後五十年』のタイトルで、当時のもやいの会の会員2095名にご寄稿を呼び掛けたところ、248名の方々から玉稿をお寄せいただき、1996年

1月に書籍として刊行しました。

もやいの会のメモリアルデーは1941年12月8日真珠湾攻撃の日になみ、毎年12月8日にもやいの碑に納骨されている方々の慰霊に合わせて、あの悲惨な戦争を忘れない日として記憶し続



けることを肝に銘じています。

東京・巣鴨のすがも平和霊苑建立の準備中に近所の方からお聞きした「1945年8月戦争末期の東京大空襲の折、敷地内の防空壕に逃げ込んだ



東京・巣鴨すがも平和霊苑内
富永一朗画伯原画による三姉妹の碑と筆者

9歳に続く3人の子どもが焼死し、母親は骨肉をバケツに拾い集めていた」というお話は今も忘れることはできません。この事実を永遠に語り継ぐために「三姉妹平和祈念の碑」として安置しています。作者は大分県出身の漫画家、富永一朗画伯より奉納していただいた原画を石に彫刻したものです。

富永先生に原画をお願いした際、先生は「僕の作風は寺の記念碑にはそぐわないのではないかと辞退されたのです。が、私はその当時(1987年)の子どもたちが大人になった頃、2025年の現在、きつと仏さまより漫画に描かれた三姉妹の姿に関心をもつてくれると思いますので、是非にとお願いして実現したものです。

すると、富永先生は「わかった、思いつき明るく朗らかな感じで描いてみよう」とおっしゃられ、写真の画像と
なつたもの
です。作者
や私の思い
を多少でも
ご理解下さ
ればこの上
ない喜びで
す。

過去を忘れないという不屈の精神は、ユダヤ人から学んだこと

農業の学校で学んだり、出家、仏道修行生活をしていましたが、同級生が大学を卒業した年に東洋大学の夜学に入りました。

目的は、東洋大学で仏教を学ぶことだったので、イスラエルで研究体験をした若い教授のイスラエル建国の物語と、建国の礎のひとつとなつたキブツの講義に魅了され、サークルの仲間と一冊の本をまとめ出版しました。

ユダヤ人は2000年もの長きに亘つて国を持たないユダヤ人が建国することができたのは、過去を忘れず国づくりの思いにつなげたことだと私たちは敬服し、尊敬したのです。但し、私たちは大きな過ちを犯したのです。言い訳がましいのですが、当時(1960年頃)のリベラルといわれていた学者、政治家、文化人の多くが見逃した罪だったのです。その罪とは、大

国のエゴが最大のものと考えています。最も今も相変わらずです。しかしイスラエル建国のプロセ

スは、過去を大切に忘れないという人の生き方を教わつた人生の師ともいえますので、ただ嘆くだけでなく、償いをしなければと感じています。草の根の活動こそが、遠回りのようで最も近い道ではないかと思うようになっていきます。

我が国でも極右政権台頭の気配が感じられる昨今、何としても平和憲法を遵守し、日米関係の見直しこそが急務となっているという危機感に襲われています。

オバマ政権時代「核の先制不使用」政策に安倍政権が強行に反対し、オバマ大統領が諦めたという話は本当らしいです。最近では日米の防衛担当者協議の席で、防衛省幹部から核の日米共同運用が提案されたとか。防衛大臣は否定会見をしますが、火のないところには煙はたたないの例え通り、現在の日本の防衛感覚では十分ありえる恐ろしい事態だと私は憂えています。

我が国、そして世界の平和を守るために私たちが今できること、今何をすべきか

ありきたりのことですが、今こそユネスコの前文の「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」。この実践活動こそが、今誰でもができることだと信じています。

これはけだし名言ですが、さて実行するとなれ

国際連合教育科学文化機関憲章
(ユネスコ憲章) 部分抜粋

前文

この憲章の当事国政府は、その国民に代って次のとおり宣言する。

戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信をおこした共通の原因であり、この疑惑と不信のために、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。

ここに終りを告げた恐るべき大戦争は、人間の尊厳・平等・相互の尊重という民主主義の原理を否認し、これらの原理の代りに、無知と偏見を通じて人間と人種の不平等という教義をひろめることによって可能にされた戦争であった。

文化の広い普及と正義・自由・平和のための人類の教育とは、人間の尊厳に欠くことのできないものであり、且つすべての国民が相互の援助及び相互の関心の精神をもって果さなければならぬ神聖な義務である。

政府の政治的及び経済的取極のみに基く平和は、世界の諸人民の、一致した、しかも永続する誠実な支持を確保できる平和ではない。よって平和は、失われたいためには、人類の知的及び精神的連帯の上に築かなければならない。

ばそう簡単なことではありません。私ごとで恐縮ですが、私は20歳の頃にユネスコの名言の実践のため、尊敬する僧侶の示唆がきっかけで出家し、修行生活を約3年過ごしましたが、悟りの筋道すら見えず挫折しました。以来60年余り、この命題を追い求める様々な試みをしていきますが、明確な「解」を得ることはできず、そろそろ人生の終着駅に近づきつつあります。

さて、人生の終着駅に近づいた今、ユネスコ運動の一翼に加えていただくという幸運を得たことで、何ができる、何をするか？ 自問自答の結果、広島・長崎の原爆の惨禍、その他戦争による無数の悲劇、そして忘れてはならないのは中国、朝鮮

半島、東南アジア諸国に対する加害の現実に目を覆うことなく直視し、これらを現在可能な限り記録し後世に伝えることが使命だと考えています。

貧乏十八番の人生だけど……

私の人生、本当にお金がないことが十八番でした。最後、88歳には感謝の意を込めて、お世話になった方々に大判振る舞いを……と考えて貯金をしていましたが、その「感謝の集い」を催すことを止めました。何人かの方から「集い」はどうなつたと催促されましたが、申し訳ないけど不義理をすることにしたと謝りました。

その理由は「ユネスコとご縁ができたので、この300万円をユネスコに寄付し、これを種火に先の戦争の惨禍を後世に語り継ぐ平和の基金にし、現在の若者たちに実践活動をして欲しい」と考えたからです。大分県ユネスコ協会連盟の丸尾会長からは、単にもらっても困ると断られましたので、次なる一手を考えました。今年の5月、私と同じ時期に丸尾会長より「30代はじめくらいの若者

の長谷川君を理事に抜擢したので、一度会ってほしい」との依頼を受けたので、長谷川君にお会いしました。IT関係の東京の会社勤務ですが、在宅勤務が多く、大分で所帯を持っているそうでした。彼の力を借りながら、先の戦争の惨禍の記録を後の世代に引き継ぐプロジェクトの企画ができることを願っています。

今後このプロジェクトが完成したあかつきには、りすシステム・もやい・功德院にご縁をいただいている方々の支援とご協力をいただきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いします。

戦争は、平和の敵です。現在、世界は右傾化とこの風潮が広がっていることを、私は危うく感じています。今や、自然から酷暑・洪水・酷寒……あらゆる罰を受けつつあります。この状況から脱するには、母なる大地を大切に、そしてその母の思いに報いる地球に恩返し活動によって、地球上に存在する地球市民としての役割を果たすことが不可欠な時を迎えています。

地球人、国同士が争っている場合じゃない！

多くの皆様のご賛同を、期待しております。

父を見送って思う 支え合いの大切さ

特定非営利活動法人

国際連合世界食糧計画 WFP 協会

井上 登



父との別れから学んだ大切なこと

2025年3月23日、享年93歳で、私の父は永眠しました。昭和6年生まれの父は、激動の戦中戦後を生き抜き、常に家族のために黙々と働き続けてくれた人でした。口数は決して多くありませんでしたが、その背中からは、言葉以上の多くのことを学びました。

特に心に刻まれているのは、「責任」と「思いやり」という、父がその生き様で示してくれた教えです。父の死は、私にとって改めて「生きる」ことの意味を深く問い直す、かけがえのない機会となりました。

ささやかな交流で笑顔になった母

父を見送ってから約2か月後、悲しみの中にあつた母が、りすシステムの横浜事務所例会『山下公園散策』に参加しました。母にとって、久しぶりに外の空気を吸い、穏やかな時間を過ごすことは、何よりの癒しとなったようです。横浜中華街での楽しいランチも満喫し、後日、母から「とても楽しかった」と、笑顔で聞かせてもらいました。りすシステムの長谷川先生には、母が一人で帰路につくことを心配し、わざ

わざタクシー乗り場までお見送りいただいたと伺いました。その細やかなお心遣いに触れ、母だけでなく、私たち家族もどれほど心が温まったか分かりません。この出来事を通して、誰かがさりげなく、しかし温かく寄り添ってくれる時間がいかに大切であるか、深く実感しました。

雑誌から伝わる温かい交流

母が大切に購読していた『りす倶楽部』は、実家に丁寧な状態で保管されており、先日、まとめて1年分を借りて読み進めました。特に「支部・パートナー活動記」のコーナーで紹介されている各地域の皆様の生き生きとした様子や、温かい交流のエピソードに触



りすシステムの例会に参加して元気を取り戻した母と

れるたび、「人はひとりでは生きられない」という普遍の真実を再確認させられます。困難な時代を乗り越え、互いに支え合いながら生きてきた、まさに父の世代が体現してきた精神が、ここには確かに息づいています。

食えることは、生きること

こうした人と人とのつながりがもたらす力は、実は私自身の仕事の原点でもあります。

私は現在、飢餓に苦しむ人々に食料支援を届け、飢餓のない世界を目指して活動する国連唯一の食料支援機関、国連世界食糧計画 (World Food Programme) (以降は国連WFPとします) の日本における民間の公式支援窓口である国連WFP協会に勤務しています。紛争や災害、貧困など、様々な困難に直面する世界中の子どもや女性、高齢者など、あらゆる人々の命をつなぐために欠かせない食料が届けられるよう、日本の皆様に国連WFPの活動への理解と支援を呼びかけ、民間からのご寄付を受け付ける活動に日々尽力しています。

一皿の温かさが届ける希望

現在、世界には戦争や自然災害、貧困などによって、毎日の食事がままならない人々が約7億3千万人も存在しています。紛争が続く地域では、戦火を逃れてきた人々に対し、国連WFPが食事を緊急で届けています。

命の危険にさらされ、すべてを失った人々にとって、食事は単なる栄養補給以上の意味を持ちます。それは、生きるための希望であり、人間としての尊厳を取り戻すための、かけがえのない支えなのです。また、紛争や気候変動の影響により食料不安を抱える世界の各地域では、活動の柱の一つである「学校給食支援」を通じ、国連WFPは子どもたちが学校で給食を受けられる仕組みを支えています。子どもたちが学校給食によって栄養を摂り、教育を受ける機会を得ることは、彼らの未来を拓く大きな一歩となります。

静かな善意の 릴레이

食べ物には、私たちが幸せにする不思議な力があります。お腹を満たすだけでなく、心を温め、それはやがて世界の平和にもつながっていくと、私は信じています。私たち国連WFP協会は、こうした国際的な活動に共感してくださる日本の皆様からご寄付をお預かりし、その善意を国連WFPの支援現場へとつなぐ役割を担っています。特にご寄付者の中には、戦後の困難な時代を知るシ

ニア世代の方々が多くいらっしやいます。皆さん、「今の自分にできることを」と、静かに、しかし力強く行動してくださっています。その行動は、日々の積み重ねが大きな力になることを私たちに教えてくれます。

戦後の厳しい時代を生き抜いてきた世代の皆様が、今、世界の困難に目を向け、温かい手を差し伸べてくださっていることに、私は深い感銘を受けています。それは、まさに助け合いの精神が脈々と受け継がれている証拠であり、日本の社会が持つ温かさだと感じています。

両親が残してくれたもの

父もまた、自分のことより家族の幸せを優先し、黙々と働く人でした。母もまた、人の気持ちに寄り添い、小さな変化を見逃さない、細やかな心配りの人です。そんな両親の姿を見て育った私は、今、食の力で命をつなぎ、人々を支えることに貢献するという、社会の一員として誰かの役に立つ仕事ができていることに深い意味を感じています。

日々の食事が当たり前にある幸せは、世界の多くの人にとっては決して当たり前ではありません。私の家族がそうであったように、誰かの支えとなる時間やつながりは、生きる力を与えてくれます。私たちが飢餓に苦しむ人々に手を差し伸べることができるのは、単に食料を届けるだけでなく、彼らに生きる希望と尊厳を取り戻すための支えとなりま

す。その一つ一つの小さな行動の積み重ねが、やがて世界の飢餓を終わらせる大きな力になると、私は強く信じています。

小さな一歩から始まる明日

『りす倶楽部』の読者の皆様には、私のこの歩みが少しでも伝わり、共感いただければ幸いです。そして、皆様それぞれの人生においても、大切なものを未来へとつなげることを考えるきっかけになれば嬉しく思います。

私たち一人ひとりの行動が、より良い世界を築くための小さな一歩となることを願ってやみません。



国連WFP協会の活動の様子

井上登様のご両親は、りすシステムの契約者で、お父様は本年3月にお亡くなりになり、契約に基づき死後事務履行しております



図1 ヒマラヤ山脈とチベット自治区の地図、小さい地図は青いケシ (Meconopsis) の分布図

ヒマラヤの国ブータン王国の国花
ブルーポピー

宇都宮大学名誉教授

谷本 丈夫



●ブータン王国の紹介

りす倶楽部2023年6月号第312号の巻頭に、鳥取大学医学部法医学分野教授飯野守男先生の『ブータン王国初の法医学者を育てて』と題された心温まる話題と、『りすシステムとの交流、支援への謝辞が報告されておりあります。ブータン王国はヒマラヤ山脈の国で、国土の80%以上が2000mを超す山岳国、その多くはヒマラヤの高山植物に彩られています。高山帯より下部には季節風の影響を受けた照葉樹林が広がり、この照葉樹林は、季節感、風土などが、四国、九州、本州中部まで続く日本の照葉樹林との類似性に関心が持たれています。ブータン王国の民族衣装は綿入れ半纏、あるいはドテラのような外見で、祖父の姿によく似ていたことが幼少の頃の記憶に残っています。

●ブータン王国の国花「ブルーポピー」

ブータン王国を訪れたことはないのですが、ブータン王国の国花、ブルーポピーについて紹介いたします。ブルーポピー、ブルーは青い、ポピーはケシの花、青いケシがブータン王国の国花となります。

流行歌では「赤く咲くのはけしの花 白く咲くのは百合の花 どう咲きやいのさ この私」(『圭子の夢は夜ひらく』藤圭子)です。花壇のケシは赤花が多く、青いケシには馴染みがありません。赤いケシの仲間ケシ (Papaver) 属、青いケシはメコノプシス (Meconopsis) (ケシに似た、いわばケシモドキ) 属にわけられ、青いケシの仲間はヒマラヤから中国パンダの生息で有名な四川省までの標高4000mの高山域に生育しています (図1)。

日本で栽培されている青いケシはメコノプシス・ベトニキフォリア種 (図7右) が多く、開花時期は5月頃、寒冷な状態で休眠させる栽培技術を使って季節を問わず開花させる技術もあるようです。このベトニキフォリア種とホリドローラ種 (図3) の違いに興味を持って現地を確認したい夢を実現させるために、ヒマラヤの高山植物に憧れていました。今回の話題は、未訪問のブータン王国を除いて、ネパールヒマラヤのランタンバレー、



図2 ケシ属とメコノプシス属の区別点(カンブリカ種は現在ケシ属に分類替え)



図4 ブータン王国の幸福を表徴するゾンカ語で「幸福」の名をもつメコノプシス・ガキディアナ(WEB 幸せを象徴するブータンの国花より)



図3 トゲゲシとも呼ばれるメコノプシス ホリドローラの青い花



図5 メコノプシス・グランデス ブータン王国の国花はこの亜種とされていた。

ち、国民の幸福と福祉を測定する理念を重視しています。そこで、現地のゾンカ語で「幸福」を意味する言葉「ガキド (Galkyid)」のローマ字表記 (galkyid) を基に、種形容語であるガキディアナが採用されているのです。

この植物は当初、メコノプシス・グランデス (M.grandis) (図5) の亜種として発表されました。しかし、最近、ブータン王国起源を称えて再命名され、種形容語はブータン王国が掲げている「国民総幸福量」(Gross National Happiness) と同じ概念、すなわち、国民の幸福と福祉を測定する

の国花です(図4)。

● **青いケシの特徴とブータン王国の正式な国花**
 メコノプシス属の青いケシは、別名トゲゲシとも呼ばれています。トゲをたくさんつけた植物は動物などに食べられないように進化してきたもので、中でも青い色が美しいホリドローラ種(図3)はトゲが多く、高山の厳しい環境の中で一際目立ちます。このホリドローラ種がブータン王国の国花とする記録もありますが、メコノプシス・ガキディアナ (Meconopsis galkyidiana) がブータン王国

に生育しており、属名の基準になったヨーロッパのカンブリカ種が、ケシ属になったことからメコノプシス属は、分類規則的には消滅されることになってしまったのです。しかし、ヒマラヤの高山帯と気候条件に近い高緯度のイギリスなどで栽培されたヒマラヤのメコノプシス属の植物が有名になっており、本来消えるはずのメコノプシス属の名前が、命名の規則を変えて残された珍しい属名です。

● **メコノプシス属分類学的変遷**
 メコノプシス属はヨーロッパのメコノプシス・カンブリカ(図2)を基準にして属が記載されていますが、カンブリカ種は現在ケシ属に再分類されています。本来のメコノプシス属はヒマラヤ、ミャンマーと中国の国境近くのインドヒマラヤ、チベット、中国の四川省、雲南省などを訪ね、それぞれの地域で遅く生育している青いケシの姿をまとめました。

● 日本におけるメコノプシス栽培の歴史

ヒマラヤの 4000m 以上の高山で生育しているメコノプシスの仲間は、我が国では栽培が非常に難しく幻の花とされてきました。メコノプシスが日本で初めて一般に紹介されたのは 1990 年、大阪で開催された「国際花と緑の博覧会」通称「花博」です。その後、コロナ騒ぎの以前には青いケシはかなり評判になって、各地で栽培され訪れる人も多く人気がありました。

メコノプシス属は地質学的にはつい最近の温暖期と寒冷期が交替する新生代第四紀に急激に多様

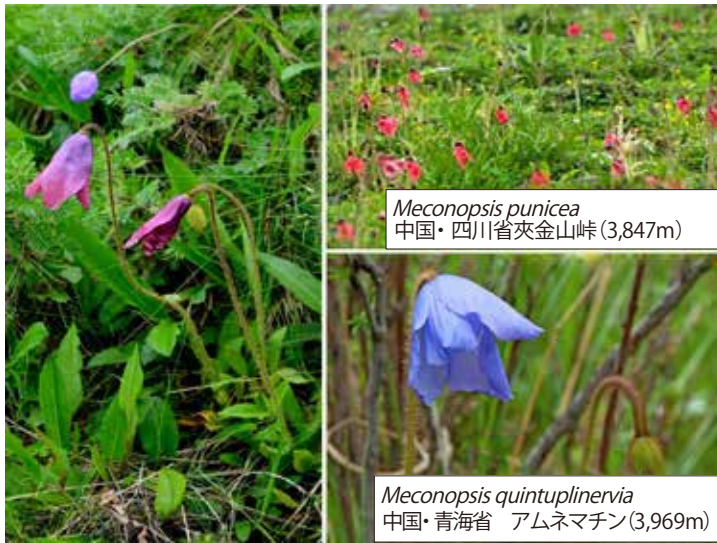


図 6 赤い花とブルーの花の自然交雑種 両親の花色が残されています

化した植物グループの一つで、種分化の歴史が浅いために近縁種との違いがあまり大きくなく、雑種をつくりやすいという性質があるそうです(図 6)。

自然界では地理的・地形的な隔離によって種の特徴が保たれていますが、植物園や庭園で隣接して植えられると近縁種の間で容易に自然交雑して雑種をつくってしまいます。その中で花が美しく特徴が際立ったものに、これまで園芸品種名がつけられてきました。大阪花博などで紹介され各地で栽培されている青いケシはベトニキフォリア種(図 7 右)で、中国雲南省の老君山で観察、撮



図 7 長いこと混同されていたベトニキフォリアとバiley種。栽培されているのはどちらでしょう。

影したものです。

しかし、WEBなどで紹介されている青いケシは、先に述べたようにベトニキフォリアと紹介されていますが、その姿形は図 7 左のバiley種と同じで、この栽培品種と野生種との混乱から、青いケシとして普及していたベトニキフォリアとバiley種(図 7)は最近まで混同されていました。

なお、青いケシは、ホリドローラのように茎のない無茎種と茎のある有茎種に分けられ、山頂付近のより厳しい環境では無茎種、谷間の肥沃な場所などでは有茎種が生育し、花の色も青だけでなく白色(図 2)黄色や赤色(図 6)、中間色があり、ブータン王国の国花(図 4)は中間色となっています。

● 青いケシの観賞と学習の機会

実際の青いケシをヒマラヤに訪ねるには高山病などの危険もあつて困難ですが、冷温室の普及や各地の高標高域に設置された植物園では、栽培された青いケシを見ることが出来ます。10月8日開催予定の植物観察会の場所「東京都薬用植物園」もその一つです。青いケシの愛好家のためのテキストや図鑑もたくさん発行されています。お近くの植物園で是非生きた青いケシをご覧になつて下さい。



図1 ホモ・サピエンスの日本到達ルート

タール人や、謎の人類デニソワ人と交雑していたことがDNAの分析からわかったのです。ホモ・サピエンスがアフリカから日本に到達し

きちんとした生活文化を持っていたネアンデルタール人、6万年前にアフリカを出て世界に拡散しました。そして野蠻と思われていたネアンデルタール人と分かれ、ずっとアフリカで暮らしてきましたが、6万年前にアフリカを出て世界に拡散しました。そして野蠻と思われていたネアンデル

●ホモ・サピエンスの出アフリカ

さて前回のお話のおさらいを少ししましょう。

私たちホモ・サピエンスは60万年前にネアンデルタール人と分かれ、ずっとアフリカで暮らしてき

考古学のはなし

第13回

古代DNA後編〜日本人のきた道

NPOりすシステム顧問

古賀秀策



図2 白保竿根田原洞穴遺跡4号人骨

日本にホモ・サピエンスが入って以降の時代を旧石器時代と呼んでいます。では本当にホモ・サピエンスが日本に入ってきたのは4万年前なのでしょうか。実はこのことには考古学的に明確な証拠があるのです。東京都の西之台B遺跡と中山谷遺跡は4万年

●ホモ・サピエンスの日本到達は4万年前なのか

たのは4万年前で、南西諸島からの沖縄ルート、朝鮮半島からの対馬ルート、そして千島列島からの北海道ルートの3つのルートで日本列島へ入ってきた可能性が指摘されています(図1)。と前回はここまでお話ししました。



図3 白保竿根田原洞穴遺跡4号人骨復顔像

3万2000年前の山下洞人(那覇市)や2万年前の港川人(八重瀬町)などが有名です。中でも2万7000年前の石垣島の白保竿根田原洞穴遺跡からは多数の人骨

●白保人は縄文人の祖先か

それでは、ホモ・サピエンスは3つの日本到達のルートのどれを通過して日本に入ってきたのでしょうか。実はこの時代の人骨の発見はほとんどが沖縄ルートばかりなのです。であれば北海道ルートや対馬ルートは通らなかったのかということも限りません。日本の土壌は酸性で骨が残りにくい一方、沖縄で人骨が多く見つかっている洞穴は石灰岩でアルカリ性のため骨が残りやすいことが原因かもしれません。

●日本到達のルートはどこか

前の日本最古の遺跡ですが、ここから明らかにヒトが作った石器が発見されています。この遺跡より古い遺跡は発見されておらず、4万年前より新しい遺跡はたくさん発見されています。日本列島にヒトが住みついたのは4万年前として間違いないさそうです。

が発見されました。図2はそのうちの4号人骨で、頭骨を復元肉付けし図3のような顔に復顔されました。

彼の内耳からわずかな組織を取り出し、国立科学博物館とスバンテ・ペーボ博士のマックス・プランク進化人類学研究所との共同研究でDNA解析されました。その結果、白保人と縄文人との共通のDNAは60%で、白保人がそのまま縄文人になったわけではないことがわかりました。むしろ白保人は東南アジアの現代人とよく似ており、東南アジアの人が沖縄ルートで日本へ来る途中に石垣島に居着いて白保人になり、

残りはさらに北上して縄文人の一部になったようです。縄文時代人のDNAの10〜20%が現代日本人に伝わっていることがわかっていますから、白保人のDNAの6%を私たちは持っていることになり、白保人も私たちの祖先の一人ということになります。

●縄文時代の始まり

縄文時代とは縄文土器が作られた時代をいいます。以前は縄文時代は1万3000年前に始まったと教科書にありました。もっと以前は1万年前でした。今は1万6000年前から縄文時代は始まったとされています。縄文時代の始まりがどん

どん古くなっているのは、年代分析技術が進化して一番古い縄文土器の年代がどんどん時代を遡っていることによります。

これまでは、氷河期の日本が1万年前に温暖となり、人々は定住して家や土器を作るようになって縄文時代が始まったと考えられていましたが、1万6000年前はまだ氷河期の真っ只中です。縄文時代が始まったシナリオを再考しなければな



図5 船泊遺跡 23号人骨復顔像



図4 船泊遺跡 23号人骨



図7 渡来系弥生人の人骨



図6 縄文系弥生人の人骨

りません。

●縄文時代人のDNA

縄文時代の人骨は全国でたくさん発見されていますが、北海道の船泊遺跡の23号人骨は、すべてのDNAが解析できた最初の縄文人です(図4)。頭骨に肉付けして図5のように復顔されました。彫りの深い典型的な縄文人女性です。

また人骨はDNA解析するだけではありません。骨に含まれる炭素と窒素の分析で古代人が何を食べていたのか分かるようになりました。海に近い縄文人は海産物を主に食べていて、山に住む縄文人は木の実や動物を食べていたこともわかります。

縄文時代人のDNAは現代日本人に一部伝わっています。その割合は10〜20%ですが、これは本土の日本人で、琉球列島は30%、北海道アイヌは70%です。

●弥生時代の始まり

さて狩猟採集の縄文時代から、大陸から水田農耕技術が伝えられて弥生時代になります。弥生時代の始まりは水田農耕の始まりです。これまで紀元前5〜3世紀とされてきましたが、現在は紀元前10世紀、今から3000年前まで遡るとされています。土器に付いた煤などを放射性炭素年代法で年代測定する技術が進歩したためです。

水田農耕技術は大陸北東部から朝鮮半島を経由してまず九州北部へ人が持ってきました。渡来系弥生人です。そしてもともといた縄文系弥生人と混血しながら徐々に近畿から関東そして東北へ稲作を伝えていきました。近畿まで2500年、東北北部まで600年もかかっていますから、縄文系弥生人はなかなか稲作を受け入れなかったことがわかります。

弥生時代初期の人骨は残念ながら発見されていませんが、弥生時代中期の人骨で、図6は縄文系、図7は渡来系の典型的な頭骨です。渡来系の方が面長で眼窩が丸く、のっぺりとした顔立ちなのがわかりますね。

● 弥生時代人のDNA

私たち現代人のDNAは80〜90%が弥生人と同じです。残りの10〜20%は縄文人のDNAを受け継いでいます。これは本土の現代人の数字で、琉球列島の現代人の縄文人DNAの割合は30%、北海道アイヌは70%です。この数字だけを見て、大陸から来た渡来人が縄文人を駆逐し、北海道と沖縄に追いやったと考えがちですが、それは事実と違います。

パーセントの違いは人口と混血の度合いの違いであって、本土では渡来人の人口が多く混血が進み、逆に北海道では渡来人が少なく混血も進まなかったということです。それでは本土に由来からいた縄文系弥生人をはるかに凌ぐ人数の渡来人が大陸からどっと押し寄せて来たのかというと、それも違います。

渡来人は最初は少ない人数でも、農耕稲作民は狩猟採集民の3倍の速さで人口が増加すると言われていますので、弥生時代の長い年月の中で渡来系弥生人の人口が増えるのは自然なことだったと思われれます。

● 古墳時代人のDNA

時代は変わって古墳時代になっても大陸からの渡来人の流入は続きました。渡来人は須恵器の生産、馬の飼育、製鉄技術などの新しい技術ももたらしました。遺伝的には古墳時代をもって現代日本人の遺伝的性質が確定することになります。

また古墳には複数の人骨が合葬されている場合が多くあります。埋葬者の血縁関係をDNA分析から明らかにすることで、当時の家族や社会の状況を知ることができるようになり、今後の研究の進展が期待されます。

● 最新のDNA研究

理研と東大の研究では、全国の現代日本人DNAを網羅的に分析した結果、日本人の祖先を、沖縄県に多い縄文系、関西に多い関西系、東北に多い東北系に分類でき、縄文系のDNAの割合は、

沖縄県が一番高く28・5%、次に東北が18・9%、関西が一番低く13・4%でした。

また、東大のグループは縄文人のDNAを受け継いでいる割合を北海道と沖縄を除く県単位で明らかにしました(図8)。これによると東北各県や鹿児島県は縄文人割合が高く、近畿や四国では低い値でした。

スバンテ・ペーボ博士がネアンデルタール人のDNA解析をした2006年からまだわずか20年足らず。人類学の革命は今後ますます進展し、その影響が多方面に及ぶことを期待しましょう。

● 次世代シーケンサーを見学できます！

前号で、この人類学の革命が最新のDNA解析技術「次世代シーケンサー」と「PCR法」に支えられていると書きましたが、なんとその次世代シーケンサーの実物が見学できます。

11月6日の京都大学iPS細胞研究所CiRAの見学会と講演会参加者を募集していますが、研究所になんと実機が2台あるのです。図9は同型機の写真ですが、意外と小さくて箱にモニターが付いたシンプルな外観です。興味ある方はぜひ参加してください。(図

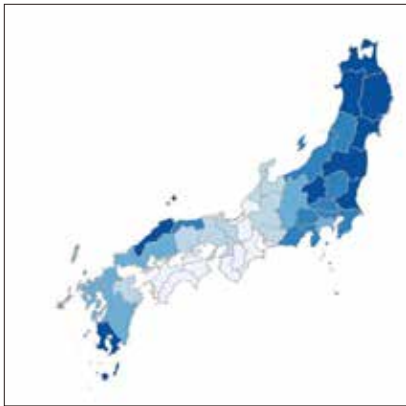


図8 都府県別「縄文人割合」。色が濃いほど、割合が高いことを示す(東京大学の研究グループ提供)



図9 次世代シーケンサー(illumina)

付いたシンプルな外観です。興味ある方はぜひ参加してください。(図1〜7、出典:国立科学博物館)

はじめまして

りすセンター仙台です！

ご挨拶

りすシステムの生前契約は2025年9月で満32年となります。7000人以上の方々より、ご自身で自らの生き方、過ごし方、そして最期については、自己決定されたプログラムを確実に実現するために、公正証書による契約を引き受けしてまいりました。

30余年間ずっと、試行錯誤を重ねてまいりました結果、3年前から地域密着型組織の確立に取り組み、準備作業を進めています。

この度、東北6県で活動する「りすセンター仙台」が本年7月1日より業務を開始しましたことをお知らせします。

お引き受けくださったのは、皆さまよくご存じの東北福祉大学グループのメンバーで、大学経営の充実発展に寄与されておられる株式会社福祉工房（社長 萱場裕氏）という法人です。東北地方の生前契約りすセンターの業務をお願いしました。

いづれ日本全国の各地域にこのような事業所を、それぞれの地域で信頼と実績のある法人にお引き受けいただき、全国的な地域密着型組織の確立を目指し、老体に鞭打って残された人生を全うできるように努力を続けてまいる所存です。

2025年盛夏

NPOりすシステム創始者 松島 如戒



りすセンター仙台 統括責任者

萱場 力

はじめまして、このたび、7月より「りすセンター仙台」として、宮城県仙台市を中心に**地域密着型組織（法人パートナー）**としての活動を開始しました。りすシステムの生前契約に関心をお持ちの方々へのご案内や、契約に至るまでのお手伝い、その後の多様なサポートをさせていただきます。あわせて、地域の福祉サービス事業所や医療機関、行政機関などへの広報活動を通して、まずは仙台を中心とした宮城県内のサービスネットワーク作りをスタートし、近い将来には、皆さまをサポートできる体制を、東北全域で広げていきたいと思っております。

さて、りすセンター仙台を運営する株式会社福祉工房は、東北福祉大学の当時の学長を発起人として平成12年に設立された、同大学の関連事業会社です。東北福祉大学は、仙台市にキャンパスを有し、開学から62年を迎える総合大学で、福祉・医療・教育などの分野の人材育成を行っており、グループ法人が経営する各種の福祉施設や病院などのほか、東北各県から北関東圏を中心に、約5万8千人の卒業生が福祉・医療・教育・行政機関などで活躍しています。

福祉工房では、生涯現役を目指すシニアの健康増進や社会交流を目的として、「仙台元気塾」の事業を20年前から行っています。仙台駅東口すぐの大学キャンパス内にあり、どなたでも入会・利用ができますので、りすシステムの利用者の皆さまにも、ぜひ足を運んでいただきたいと思います

りすセンター仙台の特徴

りすセンター仙台は、先にご紹介したとおり、「東北福祉大学」の関連事業会社である「株式会社福祉工房」が運営しています。

私たちは、「共に学び、共に生きる福祉社会づくりへの貢献」という企業理念のもと、さまざまな事業を展開しています。

中でも『仙台元気塾』では、「生涯現役」を目指すシニアを対象に、運動やアート、健康セミナーなどを通じた健康づくりのほか、世代を超えた交流の場としてもご活用いただいています。

これまで20年にわたり、多くの方々の「健康のその先にある、より豊かな人生」の実現をサポートしてまいりました。



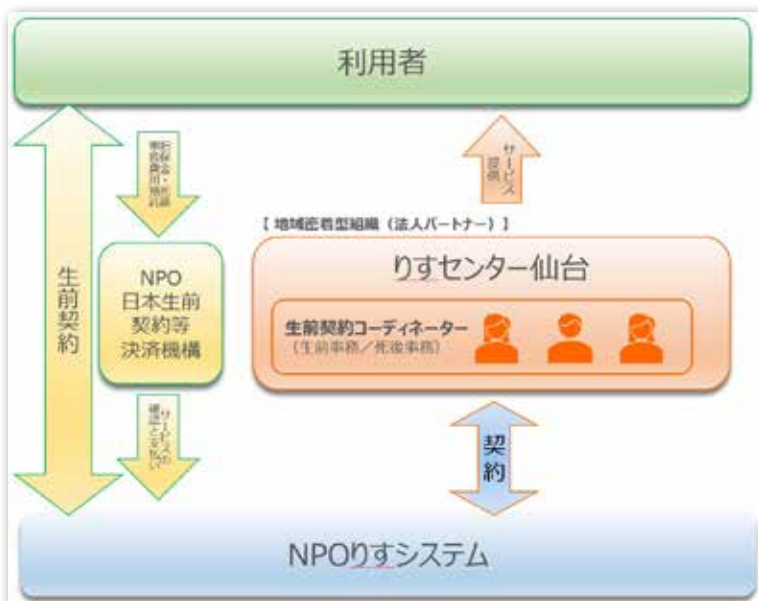
このたび、りすセンター仙台と仙台元気塾が連携することで、元気なうちは『仙台元気塾』で運動や交流を楽しみ、体力や気力に少し不安を感じ始めたときには、りすシステムの生前サービスを活用す

る、という新しいライフスタイルモデルが誕生しました。

皆さまが、これからの人生を安心して、そしてより豊かに過ごせるよう、私たちがお手伝いしてまいります。

事業体制の概要

- 利用者との契約は、NPO りすシステムが行います。
- 利用者へのサービス提供など（※）を、りすセンター仙台が行います。
- 担保金や死後事務費用などの預り金の管理、およびサービスの完全履行確認とサービス費用請求の適正チェックは、NPO 日本生前契約等決済機構が行います。
- りすセンター仙台を含む全体で、個人情報の確実な保護を行います。



※りすセンター仙台の役割

- 生前契約の広報・啓発活動
- 契約までのサポート
- 利用者への生前事務・死後事務のサービス提供
- 利用者への情報提供および交流イベントなどの開催



国東半島宇佐地域世界農業遺産の バードウォッチング

*Birdwatching in Kunisaki
Peninsula Usa GIAHS Area*

地域未来計画研究センター所長
立命館アジア太平洋大学教授

ヴァファダリ カゼム



地球に恩返し
の森づくり事業部では、2009年より大分県由布市庄内町・地球に恩返し
の森づくりを通して、環境活動や里山保全活動を続けています。今月は、
画研究センター長ヴァファダリカゼム立命館アジア太平洋大学教授より、
生モデル実践例を教えてくださいました。

自然の生息地を維持するだけでなく、
いかに豊かにすることができかを示
示しています。

野鳥の楽園となったため池

農業のために意図的に管理された、
ため池や水田などによって構成され
るモザイク状の景観は、野鳥にとつ
て貴重な生息地を作り出しています。
ため池は灌漑のためだけでなく、野
鳥の採餌や休息の場としても機能し
ています。ため池は野鳥が好んで食
べるトンボの生息地でもあります。

このように、国東GIAHSの重要要
素であるため池は生態系と食物網
全体を表しています。また、野鳥は
自然環境の健全さを示す指標とし
て、非常に重要な役割を担っていま
す。鳥類の個体数の急激な減少や消
滅は、大きな警告サインです。地域
の生態系に変化が起きていることを
示唆しています。逆に、様々な種類

の鳥が集まる地域は、環境がよく整
備され、健全であることの強力な証
拠です。

学生が体験したバードウォッチング

国東GIAHS地域では、野鳥を保全
するために様々な取り組みが行われ
ています。取り組みの一つとして、大

学生向けに、バードウォッチングを
通じた教育ツアーを今春実施しまし
た。本イベントは学生が地域の環境
に親しみ、生物多様性への理解を深
めることを目的としました。参加し
た学生全員は望遠鏡や双眼鏡を使
い、川沿いで地域住民の指導をもと



ツバメ



アオサギ



バードウォッチングを楽しむ学生



カワウ



バードウォッチングを通じた観光振興
に対する提案 (学生の発表用資料抜粋)

AI による翻訳『改善提案』.....

●環境を保護するために、インフラには環境に優しい素材を使用し、適切な廃棄物管理によって水路を清潔に保ち、バードウォッチングツアーの炭素排出量を削減します。●地元の職人と協力し、手作りのバードハウスやイラスト付きのバードガイド、地元産のバードウォッチング用アパレルなど、鳥をテーマにした商品を作成・販売する取り組みを推進します。●バードウォッチング体験を向上させ、より多くの鳥の種を見るために、様々な鳥を引き寄せる戦略的に配置された給餌ステーションを設置し、愛好家に安定した観察機会を提供します。



学生が作成した国東(GIAHS)観光
プロモーション資料(案)

に野鳥観察を行いました。観察中には、ツバメ、アオサギやカワウなどの野鳥を確認することができました。学生たちにとって、日常生活で見過ごされがちなものに目を向ける経験は、新鮮で驚きの連続だったようです。

活動後の振り返りでは、「思った以上に多くの野鳥が生息していることに驚いた」「今後の生活の中で注意深く野鳥を観察していきたい」とや「今後はもっと野鳥を身近に観察したい」などの感想が多く寄せられました。

また「鳥が安心して暮らせる環境を守りたい」という発言も挙がり、環境意識の高まりを実感しました。

持続可能な環境保全への道筋

バードウォッチングは、水環境が野鳥の生命維持の基本であることを人々に認識させる非常にパワフルな手法だと考えます。水によって植物が育ち、魚や昆虫が集まり、食物連鎖が生まれます。国東 GIAHS における水辺の景観は、人間が農耕のために作り上げてきたものですが、生命を維持する上でも重要な役割を果たしています。これは、人間の意図的なデザインがいかに自然に恩恵をもたらすかを示しています。国東 GIAHS における人間の活動は相互に関連しており、野鳥の生息地の維持に役立っているのです。

「地球に恩返し基金」に寄付をいただき、ありがとうございました

- | | | | |
|----------|----------|-----------|---------|
| 岩坪 延枝さん | 東京都中野区 | 鈴木 けい子さん | 東京都世田谷区 |
| 大須賀 孝枝さん | 埼玉県さいたま市 | 寺内 壽恵子さん | 山梨県北杜市 |
| 小山 儀助さん | 埼玉県鴻巣市 | M.Y.さん | 宮城県仙台市 |
| 佐山 馨子さん | 東京都国立市 | 渡邊 潔さん | 栃木県日光市 |
| | | 50音順 匿名4名 | |

※ 2025 年 6 月 1 日～7 月 31 日の期間、12 名の方から寄付をいただきました
※ 鈴木けい子さんが 1000 ポイント達成されました

地球に恩返し運動について

私たちの生命を育んでくれている地球!! このやさしい地球に少しでも恩返しをして、次世代に美しい地球を残しませんか。皆様のご寄附で「地球に恩返しの森」に植樹ができ、銘板にはあなたのお名前が刻まれます。

※匿名希望の方は、振込用紙の「通信欄」に「匿名希望」と、ペンネーム希望の方は「ペンネーム」を明記の上「ご依頼欄」には必ずお名前をご記入ください。

NPO りすシステム
地球に恩返しの森づくり事業部

地球に恩返し運動本部
連絡先: TEL.03-5215-2383

地球に恩返し
基金振込先

●郵便局から振り込む場合
郵便局口座番号: 00140-7-743432
加入者: 地球に恩返し基金

●他行からゆうちょ銀行に振り込む場合
店名: 〇一九 (ゼロイチキユウ)
種目: 当座 口座番号: 0743432
加入者: 地球に恩返し基金



西日本支部 在宅生活から安らかな旅立ちまで

Mさん(81歳・女性)は、2006年に契約以来、ずっと一人暮らしを続けてこられました。小柄でかわいらしい雰囲気からは想像もつかないほど、冗談を連発しては笑い飛ばす豪快なお人柄でした。

▶脳出血からの回復と帰宅の願い

特にサポートを必要とされることなく、お元気で過ごしておられました。2024年2月、体調が急変しました。体調不良のために救急搬送されたのです。診断の結果は脳出血でした。入院手続きのために駆け付け、医師の説明と一緒に聞きました。また、退院後の生活についての話し合いにも同席しました。Mさんは、自宅に帰りたいという強い気持ちから、リハビリを経て4月に退院され、ケアマネジャーさんとも連携の上、ヘルパーさんの支援を受け、自宅での生活に戻ることができました。

▶変わりゆく日常と揺れる気持ち

しかしほっとしたのもつかの間、5月に入り、ケアマネジャーさんから、Mさんの精神状態に波があり、日常生活がままならなくなっているとの連絡がありました。鍵を紛失してシリンダーの交換が必要になったり、心配な様子が見られました。

退院後の受診サポートの際に相談すると、『もの忘れ外来』を受診するようとの指示があり、服薬で様子を見ることになりました。

独り暮らしが難しくなっていると思われたため、何度も施設入所について提案しましたが、自宅に住み続けたいというお気持ちが強く、自宅での生活をつづけました。日によっては考えが変わることもありました。

▶最後の自宅での時間から施設入所へ

6月になると、何度も緊急通報ボタンを押したり、水道が使われていない場合に鳴る警報機が鳴りっぱなしになるなど、住宅の管理会社から連絡が来るのが度重なり、また、ケアマネジャーさんからも、

見当識障害がみられるとの連絡がありました。

施設入所に向けての対応を急がなくてはということで、施設入所の意思確認のためにご訪問すると、ふらふらした状態で出てこられました。「よくこけている」との言葉通り、膝をすりむいており、青あざができていところもあるため、できるだけ早く診察を受けて、早期に施設入居できるよう進めていくことになりました。

受診の予約の日、お迎えに上がると、下着姿でキッチンの扉にもたれかかり、座り込んで動けなくなったMさんが、助けを求める声を上げていました。一人では立って歩けない状態でした。

もの忘れ外来で診断書を書いていた後、自宅に戻るの難しいという判断で、別の病院に入院となりました。自宅で暮らし続けたいという気持ちに寄り添いながら、りすシステムが介入していくことで、お一人での生活が難しくなった時期に、医療につなげることができました。入院中、留守の自宅には定期的に風通しに伺い、郵便物の回収をしました。

▶穏やかな最後への道のり

その後、入院中に再び脳出血を起こし、身の回りのことができない状態になり、療養型の病院への転院に付き添い、手続きをしました。Mさんは今年2月に静かに旅立たれましたが、穏やかに過ごしていただくことができ、関わるが多かったスタッフは「かわいいMさん」と、最後まで温かい交流をさせていただきました。



パートナーの

活

動

報

告

東日本支部 自分らしい生き方の実践

Nさん（89歳・女性）は2004年に契約され、契約後12年間は、お誕生日月の確認シートの連絡のみでした。

▶入会から12年、最初のサポート依頼

最初のサポート依頼は、ご主人のお墓参りの付き添いでした。その後、緊急入院の入院手続きのサポートから受診の付き添いなど病院にまつわるサポート依頼が増えてきました。

▶肺がん診断と自分らしい治療選択

「息苦しい」と言うので、かかりつけの病院でMRIやPET検査をすると、肺がんの診断でした。手術や抗がん剤の治療を提案されましたが、本人は年齢も考えて手術も抗がん剤もしたくないと医師に申し出て、できればがんに強い医師の訪問診療、訪問看護を受けながら、痛みが酷くなったらホスピス病院で過ごしたいとの希望を伝えました。病院のソーシャルワーカー（SW）より3か所のホスピス病院を紹介され、その中から救世軍ブース記念病院（2025年7月1日よりタムス杉並病院に改名）を選び、後日、救世軍ブース記念病院で医師・看護師・SWと事前面談を行いました。面談の結果、ぎりぎりまではいままでと同じように自宅で過ごし、月に2度の訪問診療、訪問看護で対応し、痛みに耐えられなくなったら入院するという結論になりました。

▶釣り好きで飲食業を営んだKさんの人柄

Nさんは新宿で長年飲食業を営まれていて、お客様から誘われて「釣りクラブ」へ入会したそうです。会では紅一点だったそうですが、釣りの成果は男性顔負けの腕前だったようです。その証拠を自宅に魚拓として額に入れて飾ってありました。

▶緩和病棟での「電子たばこ」エピソード

Nさんは肺がんと診断されましたが、大好きなタバコはやめませんでした。たばこ火災が一番怖いとの理由で「電子たばこ」を吸われていました。8か月ほど自宅での生活を続けたのですが、これ以上は自宅での生活は難しいとご自分で判断して緩和病棟へ入院することにしました。

入院の準備のお手伝いをさせて頂いたのですが荷物の中には「電子たばこ」10箱がそっと忍ばせてありました。「電子たばこ」は煙も臭いも少ないらしく、看護師の来ないときに病室でこっそりと吸っていたそうです。ところが吸っている所に運悪く主治医が現れて見つかったそうです。Nさんは怒鳴られることを覚悟したそうですが、医師は笑いながら「煙草を吸えるぐらい元気ならよい」と暗黙の了解となったそうです。

▶自分らしく生きた最期の日々

医師から状況説明をしたいので来てほしいと言われて訪問したときも、説明後に「電子たばこ」が少なくなったので「買ってきて」と依頼され10箱を近くのコンビニで購入し届けました。医師の説明では、がんがお腹まで浸潤していて予後1か月と告げられました。

病院での生活は、晴れた日には庭に出て飛んでくる小鳥や池で飼育している亀に餌をやるのが日課だったようです。様子伺いに訪問したときも、車いすで30分ほど庭で小鳥が餌を食べるのを楽しそうに見ていました。医師説明の2週間後、様子伺いの電話をすると、看護師より「大好きなたばこも吸えなくなった」と言われました。それから2週間後、帰らぬ人となってしまいました。

人生100年時代、自分の生き方を自分で決めて、誰もが目指している理想の終末だったと思います。心よりお悔やみを申し上げます。





パートナーの活動報告

九州支部

終活への取り組みと契約者の多様性



「終活」という言葉は2009年頃から流行したようですが、それ以前から、ご自身の終活を考え、行動に移された方々がたくさんいらっしゃいます。

兄妹)、親子(母と息子・母と娘)、姪と叔父、甥と叔母など、お二方同時に、もしくは少し遅れて、ほとんどの方々が契約に進まれています。しかしながら、りすシステムはお一人お一人の契約ですから、片方の方がいろいろな事情をお持ちで、契約ができないケースもあります。その場合は、将来に向けたより良い方策をご一緒に検討していきますので、どうかご安心下さい。

事例1 独身から結婚へ

▼Hさん(66歳・男性)は、12年前にりすシステムと契約。早期退職後の就職の身元保証を受託、時間が許す限り、りすシステム主催の行事に参加されていました。多分、独身を通すだろうといわれていました。

ところが、彼女さんとゴールイン。その後、妻となったSさん(65歳・女性)は、2年前にりすシステムと契約されました。



事例2 母娘同時契約

▼Yさん(74歳・女性)とEさん(52歳・女性)は、4年前に母娘で同時に契約をされました。

Eさんの父(Yさんの夫)が急逝、現職を継続しながら大変な思いで死後事務をやり遂げることができたそうです。そこでEさんは、もし母よりも先に旅立つことになったら……と不安になり、また何が起るか分からない社会情勢。ちょうどコロナ禍1年目でした。現在は現職を続けながら、所有のマンションで母Yさんと生活をされています。

事例3 甥・叔母の契約

▼Kさん(50歳・男性)は、一年前に資料請求をされ、説明会に参加され、契約されました。

▼叔母のRさん(78歳・女性)にりすシステムを紹介して下さったところ、Rさんも説明会に参加し契約されました。その後、高齢者住宅への入居身元引受保証を受託。引っ越しを経てホームへの入居が完了しました。現在は、のんびり穏やかにホームの生活を楽しんでいらっしゃいます。





元 捜査官のつぶやき……

人形の首が動いた

I市に住む聾学校の先生のBさんが、早朝、近くの江戸川べりを散歩していると、梅雨の湿気を含んだ夏草の間のわずかな赤土の上に、こわれた人形の首が転がっていた。川の中に蹴りこんでやろうと右足をうしろに引いたとき、Bさんは飛び上がるほど驚いたという。それは人形の首ではなく、生まれたばかりの赤ん坊の首で、泣き声も立てられないほど衰弱していた。

これが捜査の端緒で、やがて附近に住む若い行員夫婦が殺人未遂で逮捕された。ギャンブルに狂い、分娩の費用もなく、かねて子どもが生まれたら立ち退いてもらうとの家主との厳命もあり、進退きわまっの犯行という夫婦の供述であったが、生まれたばかりの我が子を殺そうとする動機として、いかにも薄弱であり、同情の余地のない事案であった。新聞は、地方版のトップに「鬼の夫婦」という見出しで大きく報道した。

犯行方法は、深夜、陣痛の起きた妻の手を引いてこの河川敷に至り、妻が落ちていた段ボールを枕に横たわる、夫はそのそばで板きれで穴を掘る、やがてオギャーと勢よく泣いて生まれた赤ん坊を夫が両手ですくいあげるようにして穴へ入れる、2人でその上に土をかぶせるとい経過で進んだが、淡い月夜の晩で、赤ん坊

の顔まで土をかぶせようとしたら、赤ん坊は顔をふり、それが夫婦にはイヤイヤをしているようにみえたそうである。それでさすがに首から上には土がかけられず、そのまま立ち去った。その首から足がついたというのが本件であった。

私は、「鳥獣ですら、子を守るために自らの命を落とすことがあるというのに、この夫婦の行為は何たることか。まさに鳥獣以下というべきである」と厳しく論告したが、「ただ1つ、本件において被告人らが赤ん坊の顔にまで土をかけられなかったことだけは、両名の仏心の発露として評価したい」と付け加えた。

判決は、各懲役3年執行猶予3年であった。

言渡しを聞いて両手で顔をおおい、糸を引くように泣き出したのは夫の方で、妻は裁判官の顔をじっとみつめているだけであった。



(りすシステム監事 清水勇男)

元検事・公証人・弁護士。東京地検特捜部の時代、ロッキード事件の捜査・公判に関与し、現在団体役員など。

お知らせ

秋の植物観察会

～谷本先生と行く東京都薬用植物園～

谷本先生とご一緒に、身近にある草花、薬草を観察いたします。

今回の会場は……

「この植物、安全かな?」「健康食品に使われている植物は大丈夫かな?」といった疑問にお答えできるようにさまざまな植物を育てている**東京都薬用植物園**です。



講師: 谷本丈夫先生
(牧野植物同好会会長・宇都宮大学名誉教授)

日時: 10月8日(水) 13:30～15:30
東京都薬用植物園

会場: 現地集合・現地解散
(東京都小平市中島町 21-1)

参加費: 1,000円

定員: 40名(定員になり次第締め切ります)

締切: 9月20日までにお申込み下さい
お申し込みの方に詳細をお送りします



アクセス

- ▶西武拝島線・東大和市駅改札徒歩2分
- ▶JR立川駅北口から西武バス南街方面行き(6番のりば・7番のりば・8番のりばのいずれか)に乗り、都立薬用植物園前バス停で下車徒歩1分

お申し込みは **りすシステム** 0120-889-443

※『仙台元気塾』は、「地域密着型パートナー制度」協力パートナーです

『仙台元気塾』は、「人生を実りあるものに。さまざまなかたちの社会参画で、豊かな地域づくりの担い手に」という理念のもと、2004年から地域での健康づくりや学びの場を展開している、東北福祉大学地域創生推進センターの健康増進事業で、健康教室や多彩な学びのプログラムを開催しています。『仙台元気塾』は、東北福祉大学の関連法人である(株)福祉工房が、2004年から運営しています。



交流企画 2025【第3弾】
「秋の風物詩『芋煮』& ノルディックウォーキング」



11月6日(木) 京都大学 iPS 細胞研究所見学会

予告



高橋所長と
山中名誉所長

iPS 細胞研究最先端のオープンラボを見学できる貴重な機会です。「次世代シーケンサー」もご覧いただけます。パーキンソン病研究の高橋淳所長による特別講演会も開催予定です。詳細は来月掲載。お楽しみに!

りすシステムはプライバシーマークを
2025年4月2日に取得しています



「個人情報を適切に管理していると評価された事業者」が使用できるマーク、それがプライバシーマークです。プライバシーマークは、個人情報の取扱いを適切に行い、法令以上にしっかりと対応していることを表しています。



秋の

2025年
10月23-24日
大分旅行・神農祭

大分県由布市庄内 地球に恩返し of 森
里山のめぐみをたっぷり味わいます

神農祭

功德院

ご当地グルメ

大分名物だんご汁

ジビエカレー

※観光先が変更になりました

ツアーのご案内

- 【日程】 10月23日(木) 10月24日(金)
- 東京・羽田空港集合9:00 ●羽田空港18:45解散
 - 大阪・伊丹空港集合10:30 ●伊丹空港19:55解散
- 【参加費】 ●東京・羽田空港から72,000円
●大阪・伊丹空港から70,000円
- 【宿泊】 別府温泉杉乃井ホテル虹館
※宿泊はツインルームの相部屋です
※3名以上はご相談 ※1人部屋は追加10,000円です
- 【申込み】 9月20日(土)までにお申込みください
※定員になり次第、締切ります(定員40名)
※お申し込みの方に詳細をお送りします
- お申し込みは **りすシステム** 0120-889-443

秋の旅のメインイベントは、日出町のハーブ園、おおがファーム。別府湾を見渡せる美しい海辺の庭で、潮風を感じながら秋の花を楽しめます。広い敷地は、左にバラ園、右にハーブ園と分かれています。カフェや苗の販売もあり、穏やかな秋のひとつきを過ごせます。宿泊は、東洋一と評判の新装された別府杉乃井ホテル。2日目は、由布市の神農祭参列の後に、地域ボランティアの手作りのジビエカレー、シイタケの炭火焼き、だんご汁など、手作りの大分グルメのおもてなしです。

編集後記

毎度、犬の散歩道。朝5時半でもう暑いです。この頃、やたら道路に干からびたミミズのあとがある。眺めていたら、雑木林から車道に出てきて、のた打ち回っている(ように見える)ミミズを発見。この道を渡るうというのか? ダメダメ! 見てごらん干からびた仲間たちの残骸を。これからここは灼熱の道になるのだよ。林に帰ろう、ふかふかの土の中で浮世を憂いてください。それでも君は……のた打つようにアスファルトを進む。おっと車が来た。やり過ぎた後には潰れた君がいた。ああ……。

(芳賀みゆき)

我が家の浴室は廉価だけどシンプルで真っ白で良いとこどりのユニットバスのはずなのですが、長年使ううちにところどころ水垢がつき、くすんで見えるのが気になりつつ……。年末はりんごの発送で大忙し。それを理由に、正月前の大掃除をおさぼり気味だったからでしょう。そこで今年の夏はお風呂の大掃除を決定しました。活躍したのがクエン酸水。アルカリの汚れは酸で落とす。高校理科で習いました。作り方は水200mlにクエン酸小さじ1を溶かすだけ。これをスプレーしては磨き、また吹きかければごすり……。気づけば一日がかりの大仕事。あちらもこちらまで磨き終えらると、まるで一皮むけたように浴室が明るくなりました。

(東本優子)

● 談話室 例会のご案内 ●

◎参加費は無料です。定員数がありますので、ご予約ください
◎定員になり次第、締め切りさせていただきます

談話室 / 例会のお問い合わせ
お申込み先はこちら



0120-889-443



お待ちしております♪



北海道支部	
9月6日(土)	11時～15時
10月6日(月)	11時～15時
会場: 北海道支部事務所	
東日本支部	
9月15日(月)	13時～15時
9月28日(日)	13時～15時
10月15日(水)	13時～15時
10月28日(火)	13時～15時
定員: 10名	会場: 北の丸ガラスゲート
中部日本支部	
9月10日(水)	13時～15時
10月10日(金)	13時～15時
会場: 中部日本支部事務所	
中国支部	
9月6日(土)	12時30分～14時30分
10月4日(土)	12時30分～14時30分
会場: 参加申し込みの方にお知らせします	
西日本支部	
【お詫び】7月談話室の日程に誤りがあり、ご関係者の皆様にご迷惑をおかけし、大変申し訳ございませんでした。	
9月24日(水)	13時～15時
10月23日(木)	13時～15時
定員: 5名	会場: 西日本支部事務所
九州支部	
9月29日(月)	13時～15時
10月29日(水)	13時～15時
定員: 3名	会場: 九州支部事務所

北日本支部	
9月30日(火)	11時～15時
10月30日(木)	11時～15時
例会 / イベント	
9月23日(火)	10:00～14:00
参加費: 4,500円(税込)	
締切: 9/17(水) 定員 15名	
10:00に仙台駅集合。東北福祉大学元気塾主催の「秋の風物詩『芋煮』&ノルディックウォーキング」に参加します。『芋煮』のみの参加も可能です。 定員になり次第締切です。 参加申し込みの方に、詳細をお知らせします。	

東東京ランチ
葛西事務所は都合により6月末をもって閉所しました
東東京ランチの談話室は当面の間お休みです

西東京ランチ	
9月22日(月)	13時～15時
10月21日(火)	13時～15時
定員: 5名 会場: 西東京ランチ	

横浜事務所	
9月8日(月)	13時～15時
9月27日(土)	13時～15時
10月13日(月)	13時～15時
10月25日(土)	13時～15時
定員: 8名 会場: 横浜事務所	

大分支部	
9月25日(木)	13時～15時
10月の談話室はお休みです	
会場: 大分支部事務所	



NPO りすシステム
0120-889-443

りすセンター・新木場
0120-373-959